

沿革、従業員

(平成20年1月1日現在)

■ 沿革

昭和26. 6	第一殖産無尽(株)、西部殖産無尽(株)が合併し、正金殖産無尽(株)を設立 (本店:福岡市、資本金3千万円、会長山脇 正次 社長大庭 巖)	62. 6	既発公共債の売買ディーリング業務取扱開始
27. 5	相互銀行の認可を受け、商号を(株)正金相互銀行に変更	8	正金ビジネスサービス(株)が設立される
31. 9	社長に鶴 喜代二就任		銀行事務の代行業を営む
34. 6	本店を現在地(福岡市中央区大名二丁目)に新築移転	63. 2	資本金13億円となる
35. 3	内国為替業務取扱開始	3	資金量2,000億円突破
40. 1	資本金2億5千万円となる	平成元. 2	普通銀行へ転換し、商号を(株)福岡中央銀行に変更
43. 3	福岡証券取引所に株式上場		正金ビジネスサービス(株)は商号を福岡中銀ビジネスサービス(株)に変更
6	九州地区相互銀行間でオープンコルレス契約締結	2. 9	新本店の完成
46. 11	社長に中山 一三就任	3. 3	資本金18億円となる
49. 4	九州地区8相互銀行共同オンライン(SBK) [現、システムバンキング九州共同センター(SBK)]に参加	4	福岡県、福岡市の指定代理金融機関となる
50. 12	資本金4億5千万円となる	10	外国為替業務取扱開始
51. 6	創立25周年	5. 4	資本金25億円となる
52. 10	第一次オンラインサービス開始	7. 5	第三次オンラインシステムへ移行
53. 12	資金量1,000億円突破	6	資金量3,000億円突破
54. 10	両替商の業務取扱開始	8. 6	頭取に森山 靖章就任
12	資本金7億円となる	11. 3	県外支店を廃止し、福岡県内に特化 (2月.中津支店、3月.下関支店)
57. 3	全店オンライン網の完成	13. 4	損害保険窓口販売業務取扱開始
58. 4	公共債の窓口販売業務取扱開始	6	創立50周年
11	会長に中山 一三、社長に山本 敬一郎就任	6	会長に森山 靖章、頭取に田中 克佳就任
59. 11	第二次オンラインシステムへ移行	14. 10	生命保険窓口販売業務取扱開始
		17. 3	福岡中銀ビジネスサービス(株)が解散
		18. 6	証券投資信託窓口販売業務取扱開始

■ 従業員の状況

	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期	平成19年3月期	平成19年9月期
従業員数	496人	474人	499人	487人	518人

(注)従業員数には、臨時雇用員及び嘱託を含んでおりません。